

2026 年 2 月 12 日

報道関係各位

GMO インターネット株式会社

**GMO インターネット、チューリングに
32 億円出資し戦略的パートナーシップを締結
～「GMO GPU クラウド」提供で完全自動運転 AI 開発を加速、
次世代モビリティ社会の実現へ～**

GMO インターネットグループの、GMO インターネット株式会社（代表取締役 社長執行役員：伊藤 正 以下、GMO インターネット）は、AI を活用した完全自動運転システムの開発に取り組むスタートアップであるチューリング株式会社（CEO：山本 一成 以下、チューリング）と、GPU クラウド分野における戦略的パートナーシップおよび出資に関する覚書（以下、「MOU」）を、本日 2026 年 2 月 12 日に締結したことをお知らせいたします。GMO インターネットはチューリングに 32 億円を出資するとともに、「GMO GPU クラウド」の 4 年間の長期契約を締結します。チューリングは、「GMO GPU クラウド」が提供する「NVIDIA H200」および「NVIDIA B300」GPU を採用した総理論演算性能^(※1) 約 0.37EFLOPS^(※2)（エクサフロップス）を誇る、大規模 AI 計算資源を活用することで、完全自動運転 AI 開発を推進します。



（※1）総理論演算性能とは、GPU の仕様に基づく理論上の最大計算性能

（※2）FP16 Tensor コア（スパース性なし）における理論値

【戦略的パートナーシップ合意の背景】

～チューリングの取り組み～

チューリングは、完全自動運転の開発に取り組むスタートアップです。環境認識から経路計画、運転制御までを単一の AI で行う E2E^(※3)（End-to-End）自動運転 AI と、人間社会の常識や背景、文脈の理解を獲得した大規模基盤モデルを同時に開発しています。これらを統合することで、あらゆる条件下において車が

人間の代わりに運転操作を行う「完全自動運転」の実現を目指し、自動運転 AI システムの開発に経営資源を集中しています。

(※3) End-to-End (E2E) : 従来のシステムが「認識→判断→制御」という複数の機能に分けて処理を行うのに対し、カメラなどのセンサーから得た入力データからハンドル・アクセル・ブレーキなどの制御指示までを単一の AI モデルが担う一貫した処理方式のこと。

～GMO インターネットの取り組み～

GMO インターネットは 2024 年 11 月より、AI・ロボティクスなどの進化に伴う高度な演算処理需要の高まりを受け、計算性能と開発環境のユーザビリティに強みを持つ GPU クラウドサービス「GMO GPU クラウド」を提供しています。「GMO GPU クラウド」は、NVIDIA H200 Tensor コア GPU に続き、2025 年 12 月には「NVIDIA Blackwell Ultra GPU (B300)」を搭載した最新の GPU クラウドサービスを国内最速クラスで提供開始しております。高性能な計算資源を国内データセンターから安定供給することで、日本の AI 開発力の強化、産官学の垣根を超えたイノベーションの創出に貢献しています。

～GMO GPU クラウドの技術的な強み～

(1) サービスの特徴

NVIDIA H200 Tensor コア GPU を搭載するサービスでは、国内初となる高速ネットワーク NVIDIA Spectrum-X と高速ストレージ環境と、シンプルかつフルマネージドなジョブスケジューラーシステムを標準提供しています。

「NVIDIA Blackwell Ultra GPU」を搭載したクラウドサービスでは、AI 推論モデルに最適化された「NVIDIA HGX B300 AI インフラストラクチャ」を導入し、大規模言語モデルの高速推論やエージェント型 AI 開発など、最先端 AI ワークロードに最適な高性能環境を提供しています。

(2) 最新技術への対応

GMO インターネットでは、NVIDIA の最新世代をいち早く導入し、ネットワーク・ストレージ・運用基盤まで一体で進化させながら、最先端 AI ワークロードに対して常に最適な実行環境を提供します。また、マルチインスタンス GPU (MIG) 機能、ウェブポータルソフトウェア「Open OnDemand」、モニタリングダッシュボード (Grafana) 等、継続的な機能拡充を実装し、リソース効率の向上と開発サイクルの加速を支援しています。

(3) 国内事業者としての意義

日本のエンジニアチームによる 24 時間サポート体制により、AI 開発者の負担を大幅に軽減します。さらに、国内データセンターですべてのデータを保管・管理する「ソブリンクラウド」として、重要な技術情報とデータ主権を国内で確保します。日本発の技術で世界に挑戦するというチューリングのビジョンと、国内 AI 産業を支える GMO インターネットの使命が一致し、本パートナーシップの実現に至りました。

～戦略的パートナーシップの意義～

チューリングは、従前より「GMO GPU クラウド」を同社の完全自動運転 AI 開発に採用しています。今回 GMO インターネットは、チューリングに 32 億円を出資するとともに、「GMO GPU クラウド」の 4 年間の長期契約を締結することで、同社に安定的な資金と計算資源を提供します。これにより、今後の計算資源需要の高まりに対応した安定的な供給とサポート体制を拡充し、完全自動運転の実現に向けた開発加速を後押ししてまいります。また、環境構築・運用を通じて得られた知見や、チューリングの最先端 AI 開発現場からのフィードバックを活かし、常に最高の研究・学習環境を提供する体制を構築します。

【MOU の主な内容】

項目	内容
主な内容	(1) 計算資源の提供や環境構築・運用に関する戦略的パートナーシップ契約の締結 (2) GMO インターネットからチューリングへの出資の実行
出資金額	32 億円（予定）
最終契約締結	2026 年 3 月（予定）
出資の実行	2026 年 3 月（予定）

【チューリング CEO 山本 一成氏のコメント】



チューリングは、開発をできる限りシンプルに保ち、世界の AI 開発における技術的トレンドを早期に取り込むことで高い開発速度を実現しています。高速なネットワークとストレージを備える GMO GPU クラウドは、私たちの開発思想とも高い親和性を持っており、24 時間体制のサポートによってエンジニアの負担も大きく軽減されています。今回の戦略的パートナーシップを通じて、AI 計算基盤をさらに強化し、完全自動運転の実現に向けた開発をより一層前進させていきます。

【今後の展望】

AI 技術の進化は、自動運転のみならず、医療・製造・農業などあらゆる産業の発展を加速し、高齢化や労働力不足といった日本の構造的課題の解決にも直結します。中でも完全自動運転は、世界中の企業が技術開発を競う最先端領域であり、日本のスタートアップが世界の標準技術を創出していくためには、最先端の計算資源と安定した長期開発体制の両立が不可欠です。

今回の戦略的パートナーシップを通じて、GMO インターネットは「GMO GPU クラウド」を継続的に進化させ、チューリングの完全自動運転システム開発を力強く支援します。計算資源を提供するインフラ事業者として、国内 AI 技術が産業競争力と社会の持続可能性を高める基盤づくりに挑戦し続けてまいります。

【GMO インターネットについて】

GMO インターネット株式会社は、ドメイン、クラウド・レンタルサーバー、インターネット接続などのインターネットインフラ事業と、インターネット広告・メディア事業を展開する総合インターネット企業です。「すべての人にインターネット」というコーポレートキャッチのもと、社会基盤を支える企業として安心・安全なインターネット社会の実現と、AI で新たな未来を創る価値創造に貢献し、関わるすべての方に「笑顔」と「感動」をお届けしてまいります。

【チューリングについて】

完全自動運転の開発に取り組むスタートアップです。カメラから取得したデータのみでステアリング、アクセル、ブレーキなど、運転に必要なすべての判断を AI が行う E2E（End-to-End）の自動運転システムを開発しています。複数種類のデータを用いて高度な判断を行うマルチモーダル生成 AI「[Heron](#)」や、リアルな運転シーンを動画として生成可能な自動運転向け生成世界モデル「[Terra](#)」、画像から得た運転環境を自然言語で詳細に説明し適切な経路計画を生成することが可能な自動運転向け VLA モデルデータセット「[CoVLA Dataset](#)」等の開発を通じて自動運転領域における技術革新を推進しながら、完全自動運転の実現を目指しています。

- Heron <https://tur.ing/posts/n7UT9tmK>
- Terra <https://tur.ing/posts/V0YV1eyS>
- CoVLA Dataset <https://tur.ing/posts/ACnNV8lk>

【「GMO GPU クラウド」について】（URL : <https://gpucloud.gmo/>）

「GMO GPU クラウド」は、NVIDIA H200 Tensor コア GPU を搭載し、国内初となる高速ネットワーク NVIDIA Spectrum-X と高速ストレージを実装しています。

2024 年 11 月に発表された世界のスーパーコンピュータ性能ランキング「TOP500」^(※4) においては、世界第 37 位・国内第 6 位にランクインし、商用クラウドサービスとしては国内最速クラスの計算基盤を提供しています。さらに、2025 年 6 月には電力効率を競う世界ランキング「Green500」^(※5) にて世界第 34 位・国内第 1 位を獲得し、高性能と省電力性の両立が国際的に評価されました。加えて、2025 年 12 月には NVIDIA の次世代 GPU「NVIDIA Blackwell Ultra GPU」を搭載した「NVIDIA HGX B300」のクラウドサービス提供を開始しました。^(※6)

GMO インターネットは、本サービスを通じて、生成 AI 分野に取り組む企業や研究機関に、最適化されたインフラ基盤と、お客様のワークロードに応じた柔軟でカスタマイズ可能な計算環境を提供し、開発期間の短縮とコスト低減に貢献することで、国内 AI 産業の発展を促進します。

(※4)「GMO GPU クラウド」世界のスーパーコンピュータランキング TOP500 で 37 位にランクイン

(2024 年 11 月時点 <https://group.gmo/news/article/9266/>)

(※5)「GMO GPU クラウド」電力効率を競う世界ランキング「Green500」で世界 34 位、国内 1 位を獲得

(<https://internet.gmo/news/article/50/>)

(※6)「GMO GPU クラウド」「NVIDIA HGX B300」のクラウドサービスを国内最速クラスで提供開始

(<https://internet.gmo/news/article/122/>)

以上

【報道関係お問い合わせ先】

●GMO インターネット株式会社

広報担当 福井

TEL : 03-5728-7900

お問い合わせ :

<https://internet.gmo/contact/press/>

●チューリング株式会社

広報担当 阿部

お問い合わせ : pr@turing-motors.com

●GMO インターネットグループ株式会社

グループ広報部 PR チーム 小犬丸

TEL : 03-5456-2695

お問い合わせ :

<https://www.group.gmo/contact/press-inquiries/>

【GMO インターネット株式会社】（URL : <https://internet.gmo/>）

会社名	GMO インターネット株式会社 （東証プライム市場 証券コード：4784）
-----	---------------------------------------

所在地	東京都渋谷区桜丘町 26 番 1 号 セルリアンタワー
代表者	代表取締役 社長執行役員 伊藤 正
事業内容	■ インターネットインフラ事業 ドメイン登録・販売（レジストラ）事業 クラウド・レンタルサーバー（ホスティング）事業 インターネット接続（プロバイダー）事業 ■ インターネット広告・メディア事業
資本金	5 億円

【GMO インターネットグループ株式会社】（URL : <https://www.group.gmo/>）

会社名	GMO インターネットグループ株式会社 （東証プライム市場 証券コード：9449）
所在地	東京都渋谷区桜丘町 26 番 1 号 セルリアンタワー
代表者	代表取締役グループ代表 熊谷 正寿
事業内容	持株会社（グループ経営機能） ■ グループの事業内容 インターネットインフラ事業 インターネットセキュリティ事業 インターネット広告・メディア事業 インターネット金融事業 暗号資産（仮想通貨）事業
資本金	50 億円

【Turing 株式会社】（URL : <https://tur.ing/>）

会社名	Turing 株式会社
所在地	東京都品川区大崎 1 丁目 11-2 ゲートシティ大崎 イーストタワー4 階
代表者	代表取締役 山本一成
事業内容	完全自動運転システムの開発
資本金	3000 万円

Copyright(C)2026 GMO Internet, Inc. All Rights Reserved.